平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	環境情報科学特論B（Environmental Information Science B）			授業コード	M007401
担当教員名	坂井 美穂			科目ナンバリングコード	R20104
配当学年	1	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	とくにありませんが、環境情報科学特論Aを受講していることが望ましい。				
受講心得	日常から環境問題や情報の取り扱いについて興味を持つようにしてください。				
教科書	講義時にプリント配布				
参考文献及び指定図書	講義時に指示します				
関連科目	環境情報科学特論A				

授業の目的	本講義では、環境白書／循環型社会白書／生物多様性白書を用い、環境情報を切り口に環境問題の各領域における問題発見および解決手法について習熟することを目的とする。
授業の概要	環境問題を理解するには、環境問題全般への関心が必要不可欠であるため、日々の環境問題に関するニュースについても解説を行う。また、データ解析を行うにあたり、エクセルを用いる。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 環境と共生するために必要なこと 現在起こっている多くの地球規模の環境問題の受け止め方やバランスのとれた共生関係の築き方について考察を行う。	
第 2 週 ： 環境と共生するために必要なこと 現在起こっている多くの地球規模の環境問題の受け止め方やバランスのとれた共生関係の築き方について考察を行う。	
第 3 週 ： 環境分析について(大気・土壌・水) 環境分析全般について説明する	
第 4 週 ： 環境分析について(大気・土壌・水) 環境分析のうち、大気の分析の方法について説明を行う	
第 5 週 ： 環境分析について(大気・土壌・水) 環境分析のうち、土壌の分析の方法について説明を行う	
第 6 週 ： 環境分析について(大気・土壌・水) 環境分析のうち、水の分析の方法について説明を行う	

第 7 週 ： 生物多様性について 生物多様性白書を用い、生物多様性が必要な意義について解説を行うとともに、評価方法等についても解説を行う。	**環境白書／循環型社会白書／生物多様性白書を読み、講義時に出される課題について、調べてくること** **学習内容の復習**
第 8 週 ： 生物多様性について 生物多様性白書を用い、生物多様性が必要な意義について解説を行うとともに、評価方法等についても解説を行う。	
第 9 週 ： 環境倫理について 環境倫理について説明する	
第10週： 環境倫理について 我々の環境に対する行動について、倫理学の観点から考察を行う。	
第11週：データ解析について データの読み方について解説する	
第12週：データ解析について エクセルを用いてデータの解析演習を行う	
第13週：データ解析について エクセルを用いてデータの解析演習を行う	
第14週：データ解析について エクセルを用いてデータの解析演習を行う	
第15週：総合レポート 第1回～第14回までの講義やディスカッションを踏まえた総合レポートを課す。	
第16週：	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①正当な理由のない遅刻や欠席がなく、講師の話を傾聴することができる。 ②不明点について、積極的に質問し、理解を深めることができる。 ③理論を実践するために、自主学習を行うことができる。
【知識・理解】	環境問題について基礎的な知識を他者に説明することができる
【技能・表現・コミュニケーション】	環境問題についてデータをもとにレポートを作成することができる
【思考・判断・創造】	環境問題についてデータを解析し、判断することができる

〇成績評価基準（合計100点）	合計欄	100点

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	15点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		25点	
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	20点	20点	

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	